



て と て



発行:青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課 (Email:bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp)
〒030-0801 青森市新町 1 丁目 3-7 TEL:017-718-1384 FAX:017-718-1372

新年度、新たな人、資源探しを



今年の冬は記録的豪雪で日常生活にも多くの影響を及ぼしました。CS 委員、CSD、地域学校協働活動推進員並びに各ボランティアの皆様におかれましては、今年度もあと 1 か月あまり、雪や寒さ対策の他インフルエンザや風邪等まだまだ気を抜けないかと思いますが、引き続きよろしくお祈りします。

さて、学校訪問の際、校長先生・教頭先生方から、地域の人や施設・企業と地域の様々な協力があって、学校教育活動にはとても助かっていると聞いています。一方、課題の一つにボランティアの方々の固定化、高齢化を挙げている学校が多数ありました。年度が替わる今この時期、退職、転勤、転居等で新たな人や企業が地域に現れ、そのことが課題の解決につながる場合があります。学校運営協議会をはじめとする様々なネットワークを活用して、人探し、資源探しをしてみてもいいでしょうか。

より有意義な会議を目指して、「熟議の推奨」



現在、市内 19 中学校区のうち 12 中学校区で CS が設置され、ゆくゆくは全中学校区に設置する予定となっています。今回の第 4 回学校運営協議会・地域学校協働活動に係る事務連絡会議 (1/23) は、豪雪で会場までの参集が厳しいことから、WEBでの研修会となりました。開催方法の変更に伴う連絡がうまくいかず、直接会場にお越しいただいた方がいらっしゃったことにつきましては、この場をお借りしお詫び申し上げます。

研修会では、「熟議 (ワークショップ)」の重要性をお伝えしました。既存の中学校区では、まず、「9 年間で育てたい子ども像」について「熟議」を行い、その後、実態や課題に合わせて様々な「熟議」を行っています。その一端をご紹介します。

【東中学校区 (R1 設置)】

「我が街の未来を語ろう」7/23



夏休み中の実施です。CS 委員の他東中学校の生徒が加わり、未来の東中学校区の姿について話し合いました。

【浪岡中学校区 (R1 設置)】

「もっと地域に誇りをもてるようにするために」8/21



浪岡中央公民館において、浪岡地区小中学校 6 校の CS 委員が一堂に会して話し合いました。

【筒井中学校区 (R3 設置)】

「さくらの和フェスについて」9/9



中学校区でのイベント開催に向け、協議会の会議がある度にミニ熟議として話し合いました。

【戸山中学校区 (R3 設置)】

「学区で求められるボランティア活動の具体化」6/28



拡大した戸山地区の地図を元に、どんなボランティア活動ができるのかを話し合いました。

◆学校訪問から見えてきたことと今後の課題◆ 学校運営協議会編

今年度の学校訪問から、学校運営協議会について見えてきたことと今後の課題を整理しました。ある程度軌道に乗ってきた学校運営協議会では、次のような点が大切であると思われます。

学校訪問から見えてきたこと

- ◇CS委員の人選・・・課題を洗い出し共に学校経営に携わろうという同方向の歩みをしてくれる人の選出
- ◇協議会組織・・・各校校長の密な連絡と、会長・CSD・推進員の役割分担と打合せ、理事会の有効活用、さらに各校個別の分科会を短時間でも効果的に実施する
- ◇アップデート・・・経年によるCS全体の在り方の見直し、子どもの成長に役立っているかの点検と更新
- ◇協議会の質向上・・・形骸化を防ぎ、実がありCS委員の思いを語らせる熟議を取り入れ、開催時間や場所・座席や並び等の工夫をし、参加者の減少を防ぎ活性化に努める
- ◇協議会への期待・・・中学校区で一堂に会して話ができる、地域とつながるチャンスが増える、活動の理解が進みボランティアの数が増える等のメリットの認識
- ◇教頭先生の参画・・・CS委員ではないが学校運営に欠かせない教頭先生の存在をうまく生かす
- ◇実際の熟議の開催例・9年間で育てたい子ども像、地域防災訓練(教室)、子どもの成長に係るフェス等の開催、各地区危険個所対策、小・中・地域住民交流イベントの開催、地域の未来像を語る中学生の参加や他団体を巻き込んでの開催等々

今後の課題は何か

- ・協議会委員の認識度の違い(温度差の是正)
- ・地域住民、先生方の認知度の違い
(地域・学校への浸透)
- ・協議会自体の魅力維持(熟議の活用)



今後も継続していくべきこと

- ・解決すべき課題の察知と洗い出し
- ・様々な方法(口コミ、HP、回覧板、〇〇だより、会議の場等)を駆使しての幅広い周知広報
- ・各校での先生方への周知(管理職の働きかけ)
- ・会議開催時の工夫(テーマ、場所、時間、並び、発言の場づくり等)

【コラム】ハンドシェイク

学校訪問の際、地域学校協働活動推進員やCSDから「他校の推進員さんとお話ししてみたい」「他の学校や協議会はどうしているの？」など、他校の方々との情報交換を望む声がありました。皆さんのこの事業に関わる熱い思いに、事務局として感謝の気持ちでいっぱいです。



それに応えるべく、推進員のみを対象とした「情報交換会@青森市」を1月に実施する予定でしたが、この度の豪雪により参集が難しいということになり、残念ながら延期となりました。

新年度、雪が解け皆さんが顔を合わせて集まれるような季節になりましたら、またこのような機会を設けたいと思います。その際には、どうぞ奮ってご参加し、話し合ってくださいようお願いいたします。

編集後記・・・今年度、事務局には学校現場から2人の先生が加わり、より強力な体制で本事業を進めることができました。各小中学校からも、「『子ども達のために』』という観点から新たな支援体制に変えた。」という話を少なからず聞きました。「不易流行」、新年度を迎えるにあたって、変わらないものは何か、新しくした方がよいものは何か、機会があったら話し合ってみてはいかがでしょうか。